

事務事業名		児童養護施設大洋学園補助事		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	08 子ども・子育て支援の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	
	基本事業名	02 子育て支援環境の充実		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 03 02 01 06	
所属	部課名	生活福祉部子ども課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	下田牧子			
	係名	子育て支援係	電話 0192-27-3111		
	担当者	安居清隆	内線 191		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
①社会福祉法人大洋会運営事業への補助金 370,000円 ・児童養護施設大洋学園・就労継続B型慈愛福祉学園・就労継続支援事業B型青松館・就労継続支援事業B型星雲工房・児童家庭支援センター大洋・生活介護事業慈愛福祉学園デイサービスセンター・地域活動支援センター星雲・共同生活援助事業グループホームもみじ・日中一時支援事業等の経営にあたる社会福祉法人大洋会への運営費補助金				総投入量 (千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 社会福祉法人大洋会からの補助申請に基づき、建設費借入償還金及び運営費を助成した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 建設費借入償還金補助が平成23年度で終了したことから、運営費のみの助成を行う。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>児童養護施設数</td><td>か所</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	児童養護施設数	か所	イ			ウ		
名称		単位											
ア	児童養護施設数	か所											
イ													
ウ													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 児童養護施設入所者数	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ</td><td>施設入所者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	カ	施設入所者数	人	キ			ク		
名称		単位											
カ	施設入所者数	人											
キ													
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 運営費を補助することにより、施設の維持管理が可能となり、健全かつ円滑な運営を確保し、適正なサービスを提供してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ</td><td>施設入所者定員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	サ	施設入所者定員数	人	シ			ス		
名称		単位											
サ	施設入所者定員数	人											
シ													
ス													
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 家庭での養育が困難な児童やひとり親家庭等が支援を受けて自立し、安定した生活をおくれるようになる。													

(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	370	370				
	事業費計(A)		千円	370	370	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1				
		延べ業務時間	時間	10	10				
		人件費計(B)	千円	40	40	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	410	410	0	0	0
⑤ 活動指標		ア	か所	1	1				
⑥ 対象指標		カ	人	46	46				
⑦ 成果指標		サ	人	46	46				

事務事業ID	0229	事務事業名	児童養護施設大洋学園補助事
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成3年に児童養護施設大洋学園が新築されたことに伴い、児童養護施設の運営強化及び建設時の資金借入償還金にかかる負担軽減を図るため補助金交付を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
社会福祉法人大洋会からの補助申請に基づき、建設費借入償還金及び運営費を助成した。
平成23年度に建設費の借入償還が完了。
平成27年度の組織編制により、新設した子ども課の所管となる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
対象事業者は、これまで児童福祉の向上を図るため建設費借入償還後も申請する補助金の額を減らしながら安定した運営の改善に努めてきたところである。
平成29年度以降は自助努力による運営を行うとともに、今後、新たな事情で施設の機能維持、充実を図るための施策を講じる際、運営面で助成が必要と判断する場合に改めて協議を行うこととしている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	これまで運営費を補助したことで、安定したサービスを提供できるようになった。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	近年の児童を取り巻く様々な問題に対応するため、当該施設の役割は重要であり、児童福祉の向上のために公共の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	市内唯一の施設で定員数の46名が入所し、自立に向け安定した生活をしている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	より効果的な施設の運営により、定員数や利用者数を拡大したいが、入所者の状況が異なり、対応できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	現状では施設の運営は健全であり、特に施設入所者へのサービス低下を招くことはない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	現状ではこれ以上の削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	補助申請から支払いまでを担当者1人で最低限の時間の事務を行っている。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	助成事業であるため、受益者負担はない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状においては、自助努力による安定した運営が可能であると判断し、平成29年度に事業を休止する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●		×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	法人の運営は安定しており、補助金休止の影響は無いと考えられる。